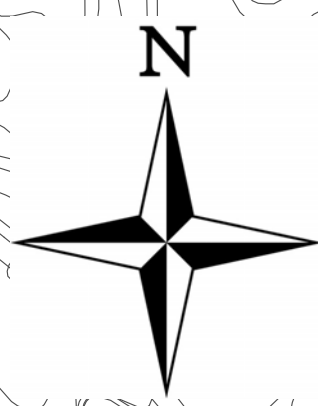


津房川水系小唐川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡 例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

	0.5m未満の区域
	0.5～3.0m未満の区域
	3.0～5.0m未満の区域
	5.0～10.0m未満の区域
	10.0～20.0m未満の区域
	20.0m以上の区域
	氾濫シミュレーション区間
	市町村界

1 説明文

(1) この洪水浸水想定区域図は2(5)の県管理区間について、氾濫が想定される範囲、氾濫した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、作成時点の地形地物の状況等を勘案して、想定しうる最大規模の降雨に伴う洪水により2(5)が氾濫した場合に想定される氾濫の状況をシミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、河川堤防の決壊による氾濫範囲の拡大、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、2(5)以外の河川の氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に表示されていない区域においても氾濫が発生する場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体

大分県

(2) 指定年月日

令和7年7月4日

(3) 告示番号

大分県告示第303号

(4) 指定の根拠法令

水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項第3号

(5) 対象となる河川

津房川水系小唐川(県管理区間)

左岸：宇佐市安心院町塔ノ尾字へり524番の2地先の県道両豊橋から塔ノ尾川への合流点まで

右岸：同

(6) 前提となる降雨

流域全体に12時間の総雨量950mmの降雨がある場合

(7) 関係市町村

宇佐市、杵築市

3 その他計算条件等

(1) この図は、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」(令和5年7月)：国土交通省水管理・国土保全局、国土技術政策研究所に基づいて越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合の浸水深を表示した図面です。

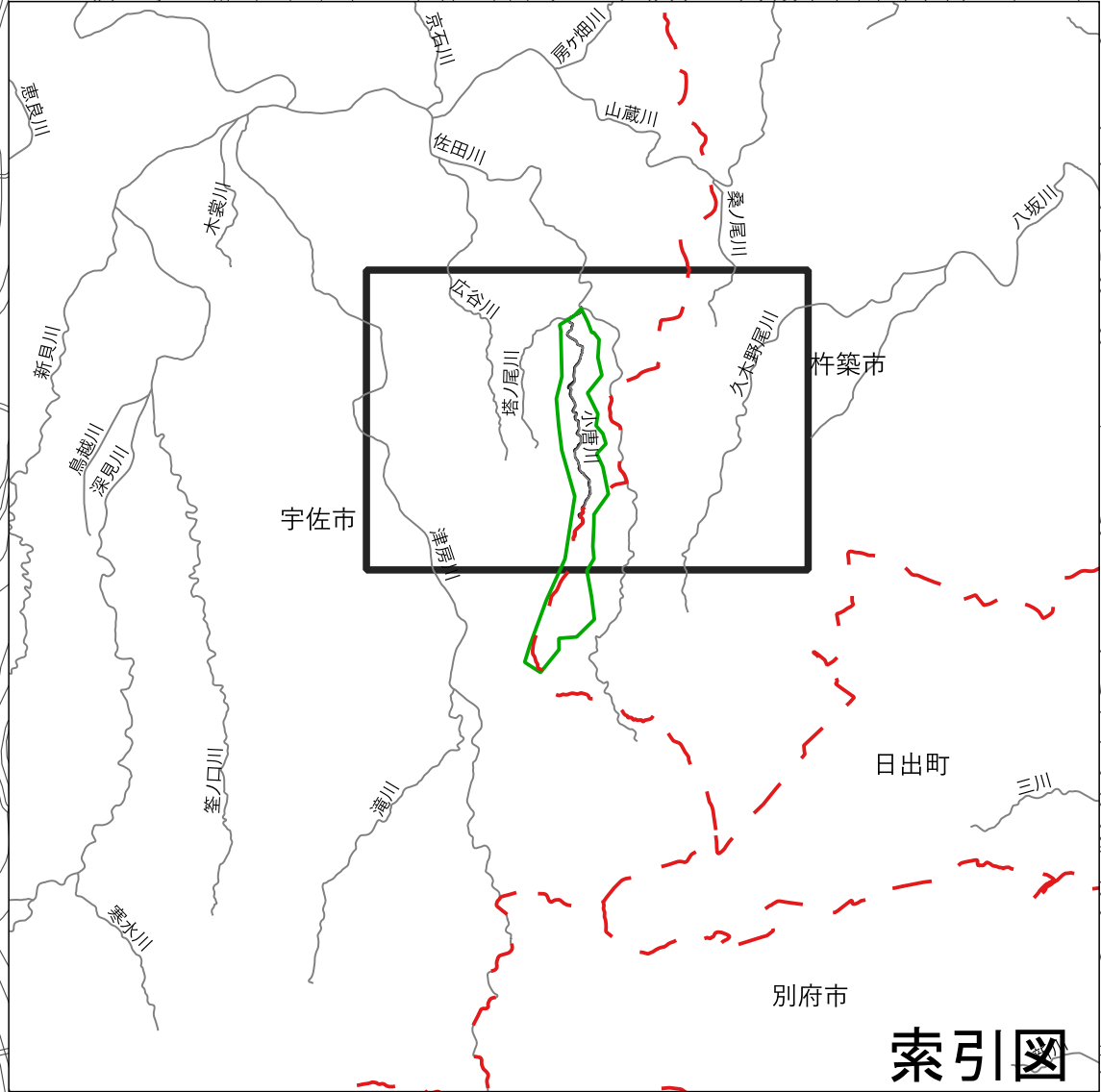
(2) 河道と氾濫区域を一体として5mメッシュに分割し、メッシュごとに浸水深を計算しています。

(3) 計算メッシュの地盤高は基盤地図情報(数値標高モデル)の平均地盤高を使用しています。

このため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



位置図



索引図



1:7500

測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R6JHs 572